

# 2023年4月24日掲載 輸送新聞

## 昨年末から今年春に

## 3センターを新設

## 第一貨物 ロジ事業強化へ

第一貨物は昨年末から今年春にかけて、札幌市、千葉県八千代市、埼玉県嵐山町に相次いで物流センターを開設した。同社は現在、ロジスティクス事業の拡大により、特積み中心だった事業ポートフォリオの見直しを行っており、今回の物流センターはこの一環となるもの。これについて米田総一郎社長は「当社ではこれまで、荷主ニーズに合わせて自社倉庫を構えるやり方が主流だったが、ロジスティクス事業の強化を見据え、ある程度



札幌物流センターが入居するDPL札幌レールゲート

「荷主ニーズがある地域に、余裕のあるセンターを賃借した」とコメントしている。3センターの概要は次のとおり。

【札幌物流センター】▽オープン2022年11月1日▽所在地札幌市白石区流通センター3の1の20（JR貨物札幌貨物ターミナル駅構内）▽物件名称DPL札幌レールゲート▽提供可能面積6600平方メートル（2階・3階に各3300平方メートル）▽バス数23。	【千葉物流センター】▽オープン23年2月1日▽所在地千葉県八千代市保品1809の1（東関東自動車道千葉北インターチェンジから約10キロ）▽物件名称プロロジスパーク八千代1▽提供可能面積6930平方メートル（2階の一部）▽バス数20（45コンテナセミトレーラーの接車可能）。	【埼玉物流センター】▽オープン23年2月1日▽所在地埼玉県嵐山町杉山204の1（関越自動車道嵐山小山インターチェンジから約600メートル）▽物件名称CBERE I M 嵐山▽提供可能面積6600平方メートル（4階の一部）。
--	--	---